

2024 年度 まちの応援プロボノチーム・まちの情報発信講座 成果報告会 開催レポート

町会・自治会活動に活気が戻ってきた 2024 年度。さらに、まちのつながりを確かなものにしたい!そんな思いを持つ多くの町会・自治会が、今年度、団体の課題を外に開き、解決を目指してプロボノ・プロジェクトに取り組みました。令和の町会・自治会の活動とは? 様々な事例からそのヒントを紐解き、参加者同士の交流を通して理解を深めていく機会として開催しました。

1. 開催概要

- 日 時： 2025 年 3 月 15 日 (土) 14 時 00 分～16 時 30 分
- 会 場： 新宿 NS ビル 3 階 南ブロック D・E・F・G 会議室
(新宿区西新宿 2-4-1/各線新宿駅 南口 西口) より徒歩約 7 分、都営地下鉄大江戸線 都庁前駅) より徒歩約 3 分)
- 参加費：無料
- お申込数：104 件
- 参加者数：90 名

当日は、町会 自治会所属の方々を中心に、まちづくりや町会 自治会の活動に関心を持つプロボノワーカーはじめ企業 団体 個人の方、区市町村の町会 自治会担当部門の方等、多様な背景を持った方たちにご参加いただきました。3 つのテーマで分科会を設け、本事業を経験した団体の生の声を届け、町会 自治会課題解決の方法としての「プロボノ」について広く知っていただくと同時に、町会・自治会同士の交流を通して情報交換していただくことで、つながりを醸成する機会となりました。



2. プログラム

- ◆ 第 1 部 | オープニング[14:00～]
 - ・ 東京都つながり創生財団より開会挨拶
 - ・ まちの応援プロボノチーム、まちの情報発信講座プログラム概要
 - ・ プロボノとは
 - ・ 本事業におけるプロボノ支援概要・実績
 - ・ オープニングトーク「地域の課題解決に”つながり”を活かす」
登壇者：嵯峨 生馬 認定 NPO 法人 サービスグラント代表理事

- ◆ 第2部 | 交流分科会 [14:30 頃～]
「まちの応援プロボノチーム／まちの情報発信講座」ご参加の町会・自治会の皆さんをゲストにお迎えし、3つのテーマに分かれ、分科会を実施しました。分科会ごとに参加団体同士で、交流を通じた情報交換をしていただきました。
- ◆ 第3部 | 各分科会の全体共有 [16:00 頃～]
- ◆ 交流会(任意参加)[16:30 頃～]

3. 内容

3-1. 第1部 | オープニング

公益財団法人 東京都つながり創生財団 共助推進課長からの開会挨拶に続き、事務局より、まちの応援プロボノチーム、まちの情報発信講座についての基本的な情報、今年度のプロボノ支援実績について紹介しました。

3-2. 第1部 | オープニングトーク「地域の課題解決に”つながり”を活かす」

登壇者：嵯峨 生馬 認定 NPO 法人サービスグラント代表理事

加入者減少と担い手不足に直面している町会・自治会の解決策として、情報発信のデジタル化や活動内容の多様化が有効なことや、地域ボランティアの関心層への関わり代を増やしていくことが、町会・自治会活動の活性化につながっていくことを伝えていきました。（※各分科会のトーク詳細は、「2024年度成果報告会開催レポート（オープニングトーク・交流分科会）」を参照ください）

3-3. 第2部 | 【分科会】2024 年度 まちの応援プロボノチーム、まちの情報発信講座に参加した団体によるゲストトークと、参加者同士のグループセッション（※トーク詳細は、「2024年度成果報告会開催レポート（オープニングトーク・交流分科会）」を参照ください）

分科会テーマ	登壇団体	登壇者
運営を効率化しよう！	おちあいちょうかい 落合町会（八王子市）	藤澤さま
	とのがやじちかい 殿ヶ谷自治会（西多摩郡瑞穂町）	古閑さま
参加の輪を広げよう！	からすやまかみちょうかい 烏山上町会（世田谷区）	芝澤さま
	かなもりさんちょうめちょうないかい 金森三丁目町内会（町田市）	小林さま
情報発信のデジタル化に挑戦！	ろなんじちのかい 鷺南自治の会（中野区）	高橋さま
	にしかまたに・さんちょうめじちかい 西蒲田二・三丁目自治会（大田区）	相原さま

3-4. 第3部 | 各分科会の全体共有

- 分科会の総括 嵯峨 生馬(認定 NPO 法人サービスグラント代表理事)

分科会、お疲れ様でした。私も 3 つの部屋を行ったり来たりしましたが、どの部屋も本当に素晴らしいお話でした。

地域にとって、プロボノというのは、言ってしまうと「よそ者」ですね。

町会・自治会からすると、そういった人たちが加わることによって、驚きがあったり、「こんな質問をされて、考えていなかったことに気づかされた」というような、ちょっとした刺激があったようです。その刺激を受けて、町会・自治会の方々が新しいことを考えたり、新たな工夫も生まれています。町会・自治会さんが次に何か新しいことを始める際に、一緒に考えたり、刺激を与えてもらえる仲間として、外部の人たちとうまく関わっているなということ、今日の話を通じて感じました。

後半のグループでの話し合いも大変盛り上がりましたね。

東京のいいところは色々な地域がすぐ近くにあるということです。今日この場で、30分から1時間ほど電車やバスに乗れば行けるような距離のお仲間とも出会えたのではないのでしょうか。

これはとても心強いことだと思います。皆様の町会で何かあっても、「30分ちょっと電車に乗れば、あの人と話せる」と思えるのは、大きな気持ちの支えになるのではないのでしょうか。そんな関係が、この場をきっかけに作られたら素晴らしいですね。

- **各分科会の内容を全体共有**

- 「参加の輪を広げよう!」分科会担当 栗原(認定 NPO 法人サービスグラント事務局)

この分科会では、烏山上町会と金森三丁目町内会のお話をもとに、町会・自治会への加入促進を目指す二つの事例が発表されました。グループセッションでは、「町会自治会活動への参加の一步として、皆さんの町会でおすすめの活動やイベントは何ですか?」という問いから、情報共有の時間を設けました。印刷物だけでなく、イベントやセミナーも住民の参加を促す有効な手段であることが共有されました。特に、親子向けイベントや防災関連企画は高い関心を集め、ハロウィンやイルミネーションなど、地域特性を活かした取り組みも効果的との意見がありました。いかに住民を巻き込むかが大切であり、多様な参加機会の提供と情報発信の工夫の必要性について話し合いが行われました。

- 「運営を効率化しよう!」分科会担当 幸野(認定 NPO 法人サービスグラント事務局)

この分科会では、落合町会と殿ヶ谷自治会の事例を基に、プロボノ活用による運営効率化について事例発表をしました。両事例から、プロボノ活用は運営効率化に有効である一方、IT化の浸透や組織内の意識改革には継続的な努力が必要であることが示唆されました。グループセッションでは、「今後試してみたいこと」や「すでに実践していること」について話し合い、「資料や記録の未整備」「後継者不足」「業務内容の不明確さ」といった課題が共有されました。また、「意識の温度差」への対応策として、「意識の高い1割が会長を動かす」という意見も出るなど、活発な意見交換が行われました。

- 「情報発信のデジタル化に挑戦!」分科会担当 吉田(認定 NPO 法人サービスグラント事務局)

この分科会では、西蒲田二・三丁目自治会によるホームページ作成と、鷺南自治の会によるLINE活用事例が紹介されました。両町会とも、役員の高齢化と若年層の参加不足を課題とし、情報発信の強化を図りました。

グループセッションでは、「ホームページとLINE、それぞれのツールの特徴を踏まえ、誰にどんなことを伝えたいか、そのためにどんなツールを使ってみたいか」という点について話し合いました。若年層への情報伝達には、スマートフォンに適した形式や手軽さが重要であるとの意見が上がり、また、ツール選定の前に、情報発信の目的を明確化すべきであるという意見もありました。さらに、新たな層へのアプローチには、イベント企画と同時に若年層の意見を取り入れることが重要であるとの認識が共有されました。

- **アクションシートシェアタイム**

各分科会内でご記入いただいたアクションシートをまわりのみなさんと共有するシェアタイムを設けました。



● 閉会挨拶

最後に、閉会の挨拶として、今回の成果報告会の趣旨である町会・自治会の枠を超えてつながることとお互いの学び合いのきっかけにさせていただくことをお伝えし、このあと続く交流会のご案内をしたのち、会を閉じました。

3－5. 交流会(任意参加)

会場に掲示した展示ボードを見ながら、登壇団体と、参加者同士の交流を通して情報交換をしていただき、町会・自治会の枠を超えてつながる機会となりました。



以上